

「ラジオDJ」社員研修ご提案

~ラジオDJのスキルから学ぶビジネススタンス~

宇佐美 陽子(うさみ ようこ)

声を仕事とした(ラジオDJ/MC)20年もの経験から、「初対面でも相手の良さを引き出すトーク術」や「感情言語声チャート」等を独自に開発。販売職の現場では店長の意識改革に取り組み、コーチングを用いて売り上げ社内日本一への貢献を果たす。(100店舗中)



女性の多い職場環境改革の現場ではリーダーの「声を磨く」手法とコーチングによる意識改革により離職率90%から半年後、離職率10%まで改善される。これまで携わった現場が抱えるコミュニケーションに関する課題改善率は99パーセントを誇る。

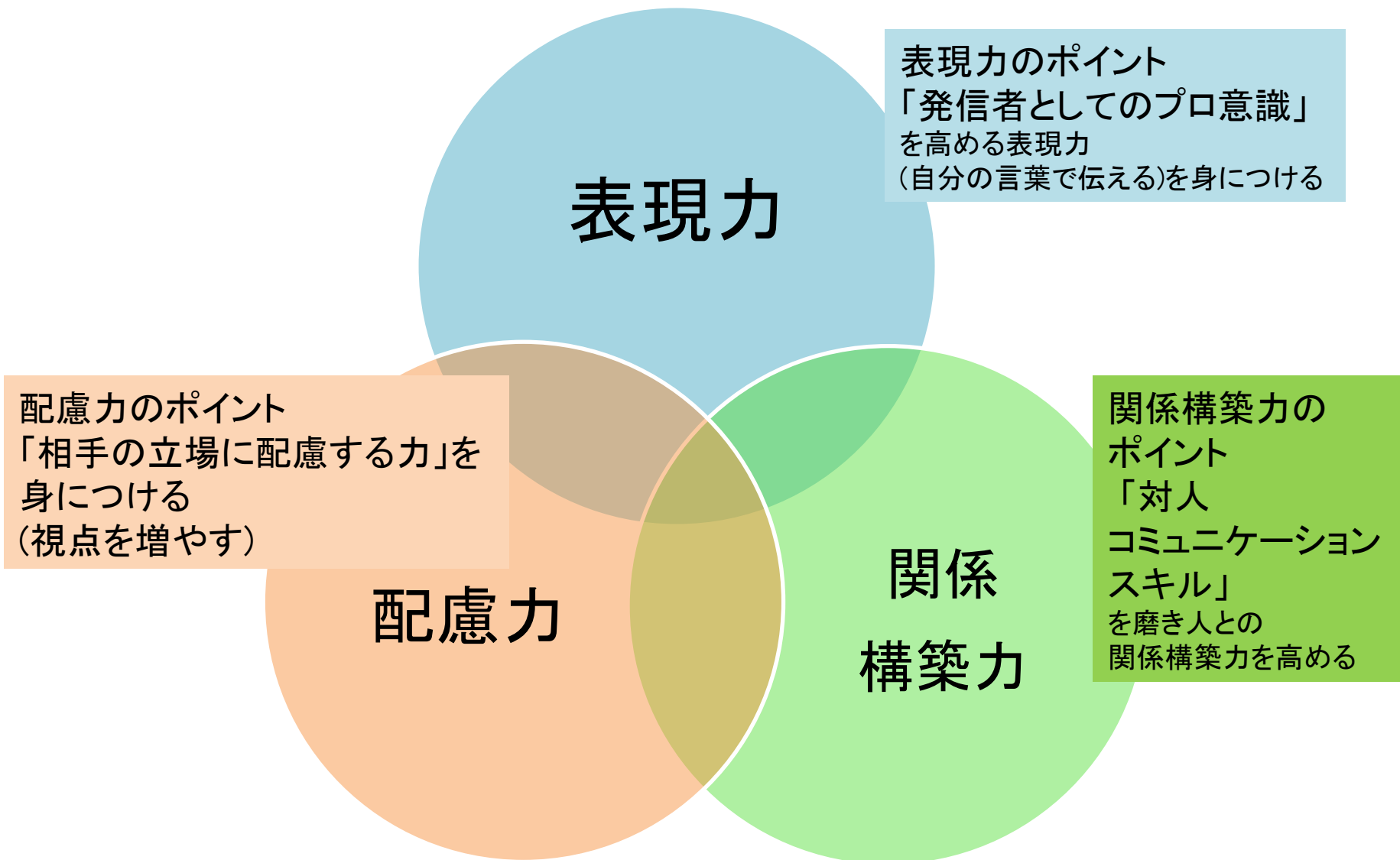
また、オンライン研修におけるモデレーター、司会、も自身で務めながら研修講師の育成にも力を入れている。「声の方針を決めること、すなわちコミュニケーションのスタンスを決めること」と考え、企業の声なき声を形にすることをミッションとする。

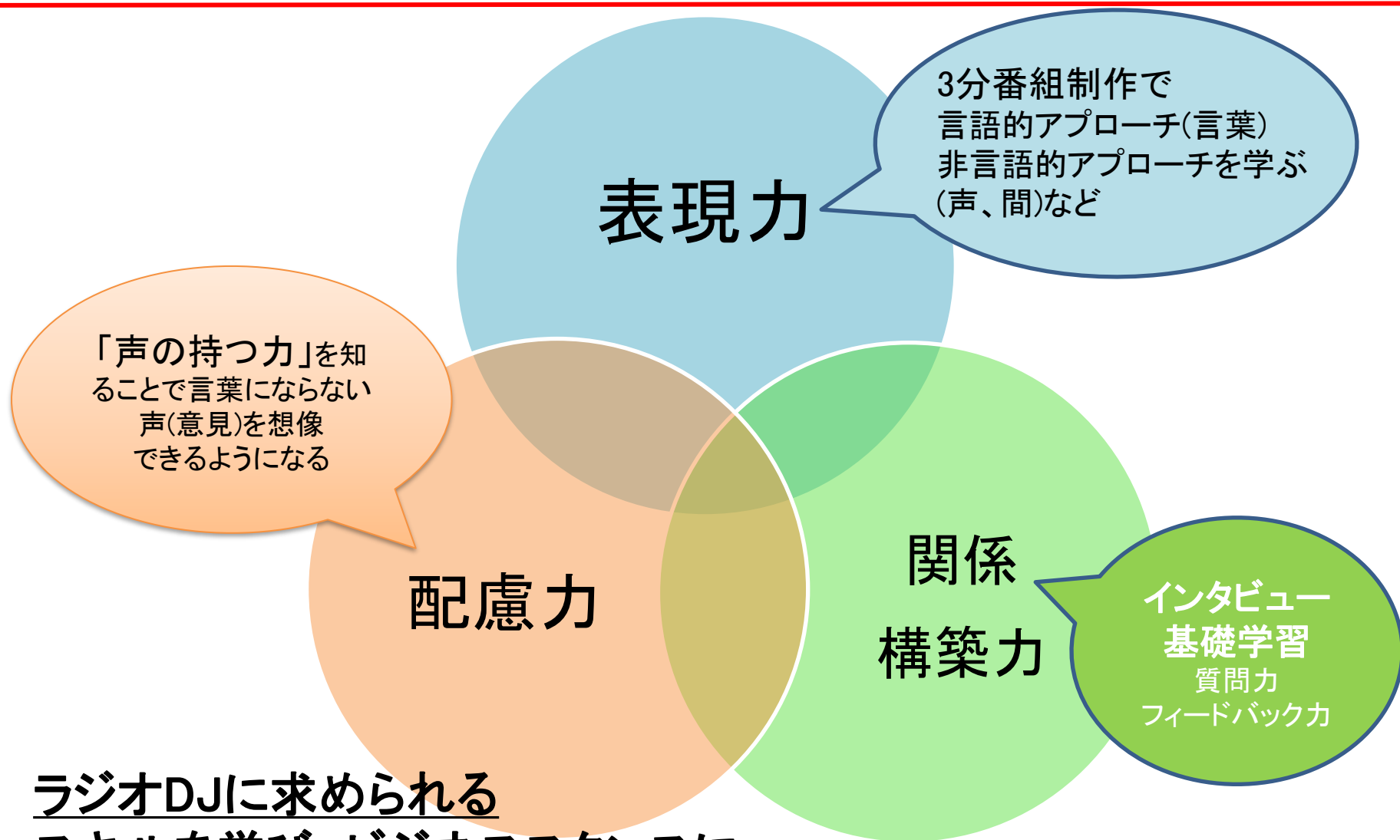
■研修実績

コミュニケーション研修、営業基礎研修、ファシリテーション研修、コーチング研修、マネジメント研修、1on1面談、ボイスマネジメント、パブリックスピーキング研修、ワンマンDJスキルのビジネススタンス研修

■企業実績

小売業、サービス業、大手通信会社、ブライダル関係、公務団体他





ラジオDJに求められる
スキルを学び、ビジネススタンスに
生かしていきます。

時間配分	内容	方法
20分	1.オリエンテーション ・グランドルールの設定 理解 ・オンラインツールの使用方法の確認	1.自己紹介(1分スピーチ) お互いの立場の確認 現状把握
20分	・自己紹介 2.本日のゴール設定	2.講義 発表/共有
60分	3.社会人に求められるビジネススタンスの3つの要素 ・表現力、配慮力、関係構築力とは? ・ビジネスマナーとは何か?を表現するワーク	3.講義 グループワーク
20分	4. 自分メディアとは ・自分メディア発信の注意点 ・音声メディアがもたらすものとは	4.講義 実習
120分	5.「3分のマイラジオ番組」を制作する ・自分の声のタイプを知る ・番組設定を行う ・インタビューの基礎 ・台本を作る ・練習/フィードバック ・発表する	5.講義 実習 ペアワーク
10分	6.まとめ	6.まとめ 質疑応答
10分	7.番組を通じて届けたい想いとネクストアクション宣言	7.発表

※進行の内容などご相談に応じます

「ラジオDJ」社員研修概要例2(新入社員/1日)



時間配分	内容	方法
20分	1.オリエンテーション ・グランドルールの設定 理解 ・オンラインツールの使用方法の確認、自己紹介	1.自己紹介(1分スピーチ) お互いの立場の確認 現状把握
20分	2.本日のゴール設定	2.講義 発表/共有
50分	3.社会人に求められるビジネススタンス ・表現力、配慮力、関係構築力とは？ ・ビジネスマナーとは何か？を表現するワーク ・ビジネススキルを上げる4つのステージ	3.講義 グループワーク
30分	4.自分メディアとは ・音声メディアがもたらすもの	4.講義 個人ワーク/グループワーク
120分	5.「3分のマイラジオ番組」を制作する ・自分の声のタイプを知る/番組設定を行う/紹介する対象を決める ・インタビューの基礎 ・台本を作る ・練習/フィードバック/発表	5.講義、演習 ※オンラインの場合は発表時にチャット等を利用した双方向コミュニケーションを実施
60分	休憩	
30分	6.心技体のレジリエンス ・自己管理/声を表す3つのこと	6.講義 実践(呼吸法、ドーム法)
30分	7.実況トーク演習	7.講義、実践
40分	8.持論化トーク演習	8.講義、実践
10分	9.まとめ	9.まとめ 質疑応答 ネクストアクション宣言

「ラジオDJ」社員研修概要例3(リーダー層、経営者層/1日) 人援隊

時間配分	内容	方法
20分	1.オリエンテーション ・グランドルールの設定 理解 ・オンラインツールの使用方法の確認	1.自己紹介(1分スピーチ) お互いの立場の確認 現状把握
20分	・自己紹介 2.本日のゴール設定	2.講義 発表/共有
30分	3.リーダー、経営層に求められる立ち居振る舞い リーダーに必要なビジネススタンス	3.講義 個人ワーク/グループワーク
60分	4. 部下指導のための声の使い方 ・声が伝えてしまう感情、体調 ・自分の声のタイプを知る ・声のタイプから部下の性質を見抜く ・口癖から自分の状態を知る	4.講義 実習
60分 120分	<休憩> 5.「部下育成のワンポイント(例)マイラジオ番組(3分)」の制作 「部下育成のワンポイントラジオ」番組の制作 ・番組設定を行う ・台本を作る ・質問スキルの構築 ・練習/フィードバック ・発表する	5.講義 ペアワーク
60分	6.持論化トーク演習(独りよがりにならない持論化とは) 実践/フィードバック	6.講義、ワーク
10分	7.まとめ、ネクストアクション宣言	7.まとめ 質疑応答

【カリキュラム詳細】

・自分の声のタイプを知る(ボイスチャート使用)

・番組設定を行う(ターゲット、時間帯、内容)

→設定に合うトーク内容を決める

・インタビューの基礎演習(ペアワークで実践)

→インタビューの下準備の講義

→インタビュー実演

・台本を作る

→自分の話す内容を全て原稿にして書き出す

・練習/フィードバック

→効果的なフィードバック方法

・オンエアする(オンラインweb会議システムを使用)

→オンラインだとより効果的

孤独耐性の強化、チャットを使った柔軟な双方向の対応力強化

※所要時間やカリキュラム内容は変更可能です

「3分のラジオ番組制作」パートでは、番組設定、内容の設定を自分自身で行い、「社会人としての」自主性、プロ意識、責任感を体感



自分の思考に対する客観的なフィードバックを受ける
(講師、他の受講者、場合によっては上司や経営層他)



他人が知っていて自分が知らない自分に出会う



自分のコミュニケーションの新しい可能性に気づく

「ラジオ番組制作」パートでは、他の研修で学んだことを番組にして、
振り返りを行うのにも効果的です。
また、制作したミニ番組をYoutubeで限定公開したり、
社内外に向けて発信する前提で行うことで
より自主性や責任感が育まれます。

音声メディア
動画メディア
社内放送を活用した
「声の社内報」の自主制作を
研修に盛り込むのも◎



後輩を育てる
(育成力)

発信者としての
責任を高める
(プロ意識)

受け手としての
感覚を磨く
(アンテナ力)

人としての本質を
磨くために
言葉を磨く
(表現力)

音声のみで情報を伝えるとき
左図のように、自分の根っこから
鍛えていく必要がある

なぜなら...
声には、自分のスタンス、
役割、性質など様々な
「本質」が露出

それぞれのステージで
得られるスキル
(表現力、アンテナ力、
プロ意識、育成力)は
ビジネスマンにとって
重要かつ必要なスキルとなる